

3. 第48代横綱大鵬との出会い

89年8月頃、大鵬親方が突然来られて…… 内容は「市内小学校5年生をスカウトに来ました！ その子の親に入門の了解を社長から話して貰い、大鵬部屋に入門してもらいたい…」との事でした。

その子は、その後小学校卒業と同時に両国の中学校に行き相撲取りになり、その後毎年夏に来られて大鵬親方との付き合いが始まりました。 その子も序二段で脚を悪くして大鵬部屋を退くことになり、その子の就職先で苦勞しましたが、ホテルの厨房で料理人として働くことになりまずは一安心でした。

その何年後かして、大鵬親方も自身の体調が良くなり稚内には行くことも出来ず、帰省の折々に清澄の部屋に行き陣中見舞いに行き来していました。

4. 原点 → 樺太から稚内に上陸（人の思い）

親方の亡くなる2013年正月に挨拶に行った時、本人はうつ伏せになって、自分は樺太からお母さん、兄、姉とポロナISK(敷香)⇒コルサコウ(大泊)⇒稚内港に小笠原丸に乗船しその時、母親が船酔いでどうにもならず稚内で下船して、それで助かりました！ もし、下船していなければ、その船は翌日、国籍不明の船に撃沈されたので、運命は本当に分からない！ ……と大鵬。 そして相撲取りになり最高の横綱になり国民栄誉賞も貰った。 それもこれも「稚内が自分にとって原点です」……と

私も稚内に帰ってから、大鵬の思いを形にして挙げたく記念碑の建立を考え元市長に相談して、稚内港の一隅に決まりました。 記念碑はインド産黒御影石を使ってレーザー彫りで大鵬の姿が出来上がりました。 コロナ禍でしたが市長、前市長、教育長、市の要人等で記念碑の建立を2020年5月吉日に挙行了しました。

大鵬親方の孫になる3人が相撲取りになり、3番目の方が王鵬で現在幕内で頑張っています。 昨年6月に大鵬一家、部屋の親方達が来訪されて盛大に記念式典を挙行了しました。

私は常に“人の思い”を大切にしたい…と思っています。

ご清聴、ありがとうございました。



大鵬幸喜上陸の記念碑



孫3男王鵬化粧回し贈呈